

秀峰通信『啐啄』

No 2 8 平成22年10月19日(火)

高原高校との再編関係の2つの会議が開かれました。・・・再編まで、6か月を切りました。

○12日(火)に県教育委員会で、13日(水)高原高校で、再編関係の会議が開催されました。県教育委員会では、再編の準備状況の報告と今後の課題等について話しました。高原高校では、県教育委員会から2名、高原高校から10名、本校から8名の計20名が出席し、再編関係の具体的な内容について、今後さらに連携し協力し合って取り組み、準備万端の上で、来年度が迎えられるようにしようと、熱心な話し合いとなりました。農業科と福祉科が本校に開科されるということの大変さを改めて感じましたが、本校がますます



再編準備委員会の様子

充実発展していく再編となるように、準備に取り組んでいきたいと思います。阿久根高原高校長が「農業と福祉という子どもを手放す親の気持ちです。子どもたちが秀峰で活躍することを願っています。」と話されました。この心情をしっかり受け止め、全教職員一丸となって、様々な問題点等を解決していきたいと思います。みなさんの協力をよろしくお願いします。



福祉科棟改修工事現場

＜再編関係で話題になったことや検討事項等＞

- ・農業科、福祉科のPRをもっと行なう。(独自の中学校訪問)
- ・校時や学校行事の精選などを早めに検討していく。
(農業の実習の時間帯、福祉科の7限目までの授業等のため)
※簡単に授業を短縮したり、カットしたりなどできない。
- ・農業の実習日の生徒の動向と教職員の勤務時間の検討をする。
- ・厳しい予算の中、できるだけ当初の計画を実行してほしい。
- ・教職員の配置、開科式(入学式当日)などの問題

☆福祉科については、介護福祉養成施設指定を受けるための施設・設備の条件整備を本年中に完結し、検査を受け合格しなければなりません。そのため、10月6日(水)から、電気科棟(体育館前)の福祉科棟への改修工事が始まりました。また、国家試験受験資格を得るためには、各教科全て、1単位当たり35時間の授業が義務付けられており、わずかな時間・分でもカットすることはできません。したがって、これまでのように簡単に、校時を変更することができないことや教育課程上、そのための工夫(学校裁量時間の設定など：福祉科のみ)がされていることを理解しておいてください。

体育大会の「PTA民踊」の練習に、3年生も保護者も一生懸命取り組みました。



保護者の方も楽しそうに

○小林工業高校の伝統の一つがしっかりと受け継がれようとしていることを実感しました。12日・13日の2日間の夜9時までの1時間の練習に、3年生保護者の方が延べ200名余り参加されました。大会当日、子どもさんと一緒に踊ることを楽しみにされていました。



生徒たちも笑顔で練習

☆体育大会当日は、ほとんどの保護者の方が見えられ、生徒との一生の思い出を作られたと思います。

PTA研修視察が実施されることになりました。・・・11月12日(金)・13日(土)

○13日(水)、PTA民踊の練習の前に、PTA役員会が開かれました。文化祭のときの「のみの市」と食品バザーについての話もありました。保護者と学校が連携できるいい機会です。先生方の協力もお願いします。また、研修視察を1泊2日で行なうことになりました。正式な案内が保護者、教職員に対して後日あります。1日目は北九州市近くのホンダ自動車工場と北九州市立大学、2日目は崇城大学見学になる予定です。予算の許す範囲で、できるだけ多く方に参加してほしいと思っています。

小林秀峰高等学校第3回体育大会 大成功に終わる！・・・16日（土）

○生徒たちの体育大会にかける熱意・頑張り、先生方の御指導のお陰で、爽やかな秋空の下、保護者や地域の方々に深い感動を与えることができた素晴らしい体育大会を開催することができました。潑刺とした元気溢れる生徒たちのプレーや行動に感動され、「見に来てよかったです。とてもいい体育大会でした。」というお言葉を多くの方々からいただきました。何事にも一生懸命に取り組む姿勢を本校生は持っていることも「秀峰ブランド」の一つと言えるのではないのでしょうか。体育大会の様子については、校長室前の掲示板やHPでも紹介しています。ご覧ください。



ラジオ体操 一日頑張ろう！

青団応援披露 決まっています

2年団技 最後まで全力で

第32回宮崎県高等学校総合文化祭の総合開会式が開催されました。・・・17日（日）午後

○大会テーマ「創造の矢 文化の弓で 新たな歴史的へと放て」今年から、県内を3地区に分けて、県高総文祭は実施されることになりました。8月の全国高総文祭宮崎大会後、初めての大会は、開会式での生徒たちの行動や演奏・演技などを見て、宮崎の高校生の文化活動が、これまで以上に充実し、活発になって来つつあるのを感じました。本校の文化部も、このような機会を通して、さら活発になっていってほしいと思っています。美術部門の展示が、小林市体育館で19日（火）～21日（木）まで行なわれます。放課後、生徒たちにぜひ鑑賞に行ってほしいものです。ぜひ、呼び掛けてください。



学校紹介 田代生徒会会長

※開会式会場では、自然科学部門のパネル展示があり、本校の科学同好会も電池等の研究を発表しました。

第46回宮崎県高等学校新人ワープロ競技大会が開催されました。・・・9日（土）西都商業高校にて

○開催された西都商業高校は、前日までの九州高校野球県予選で、わずか12名の部員で、決勝まで進み、準優勝となり、九州大会出場が決定しました。同じ商業の生徒たちが、少人数ながら、チームワークで勝ち抜いたことは、本校野球部の生徒たちにとっても「やればできる」ということを教えてくれたのではないのでしょうか。ワープロ大会へは、本校としては初出場で、かなりな緊張の中、9校中6位とよく健闘したと思います。それ以上に嬉しかったのは、引率された横田先生の報告にありましたので、紹介しておきます。生徒たちの「よさ」を今後も大いに伸ばしていきたいものです。

早朝から丸一日、生徒と一緒に過ごし、競技以外にも関心を持ったことがあった。制服の着こなし方、挨拶、スリッパの向き、機敏な行動、優しさ・・・等である。

他校の生徒と比較し、本校の生徒は綺麗に制服を着こなししていた。適切なスカートの長さ、ベストのボタン等で感じた。挨拶に関しては、他校の生徒はほとんど挨拶をしない。しかし、本校の生徒は、率先して挨拶を行っていた。また、会場で迷子になった際、会場の先生に丁寧な挨拶や伺い方をしたようで、お褒めの言葉をいただいた。競技が終わった後の後片付けを指示する放送が流れた時も、本校の生徒は静かに聞いていたようだが、他校はおしゃべりが止まらなかったところもあったようだ。後片付けも、どこの高校よりも早く現場に行き、「一番で終わりました！」と嬉しそうに教えてくれた。生徒たちが今回得られたものは、競技の結果以上のものだと思う。

☆本日19日（火）から、研究授業週間が始まり、21日（木）には、県教育委員会による「教科総合訪問」が行なわれます。研究授業も実施されますので、教科を越えての参観も今後の参考になると思います。来週の授業公開中も含めて、できるだけ多くの先生方の授業を参観してください。